

従業者向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	○子どもたちの実態や状況に応じてグループ分けをする等、子どもたちが、活動に安心して取り組めるよう工夫をしながら活動ができています。 ○児童の相性、特性を考慮した上で、グループ分けや職員配置が行われています。 ○3教室に児童や職員を分散し、密になることを避けています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	○個別の支援が必要な児童に対しては、個室で1対1の対応を行い、落ち着いて過ごせる環境設定を行っています。 ○基準人員を満たした上で適切に計画されています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	○施設の構造上、段差があるためバリアフリー化は難しいが、可能な限りパーテーション等を使用することで、こどもの刺激を減らしたり、わかりやすい環境を調整したりする工夫を行っています。 ○子どもたちの特性に応じて、その都度学習環境の検討や、状況に応じて改善を行いながら取り組むことができています。 ○施設内では、できる限り特性に応じた環境上の配慮を行っています。 ○パーテーションで区切り、刺激を受けにくい環境を作っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	○毎日の清掃、毎月の点検などで清潔、安全な環境設定を心がけています。 ○毎日の環境整備 業務後の清掃しっかりとできていると思います。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	○個別の支援が必要な児童の利用日には、3教室を事前に振り分け、個室の対応も考慮しています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	○定期的な職員研修が行われており、その議題に対して職員が意見を出し合い業務改善に努めています。 ○全職員が共通理解をしながら進めていけるような体制作りができています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		○職員が、自分の考えを伝え合いやすい環境・雰囲気作りができています。 ○職員会議・職員研修の場を定期で設けています。
9 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	○定期的に職員研修を開催しています。オンラインツールを使用し、常時学べる体制も整えています。	
10 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
11 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
12 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	○全職員が共通理解できる体制作りができています。	
13 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		○システムを使用し、全員に共有してるが、全職員が確実に確認しているかどうかは、各個人によります。	

適切な支援の提供	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		
	15	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	○ガイドラインを踏まえ、確実に要件を満たした上で個別支援計画の様式を作成しています。
	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		○月ごとに担当が設定されており、計画について話し合いの場が設けられています。 ○パートとなると流れが理解できず、スタートの時点で戸惑うことがあります。
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		○活動プログラムは、その都度職員間でアイデアを出し合い、子どもたちの状況に応じた内容が計画・提供されています。 ○週ごとに小集団活動の内容を変更しています。
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		○1日の中で、個別活動の時間と小集団活動の時間が設けられています。
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	○朝会で確認し、その後は情報共有ツールを使用しているが、情報共有が不足している部分も見られます。
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		○毎日確実にサービス提供記録を記入し、記録をとっています。保護者の方にも確認してもらっています。
	22	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		
	23	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8		
	24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	○余暇の時間の過ごし方（玩具の選択）は、自由に各自で選択した絵カードによって申告するシステムにしています。
	関係機関や保護者との連携	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	
26		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	
27		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		
28		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4	○部分的には出来ていてもなかなか全体には出来てないと思います。
29		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	○まだ事例がありません。今後は卒業後の移行支援を行っていく必要があります。 ○現在は対象者がいないが、これからは移行できると思います。
30		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		
31		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	○近くに児童館もあるので、一緒に遊べる機会があればと思います。

	32	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	8		○会議後は、会議の参加者が内容を全職員に周知しています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		○日頃から、送迎時や連絡帳、電話等で、状況を伝え合っています。
	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		
保護者への説明等	35	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		
	36	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		
	37	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		
	38	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		
	39	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		○Instagramで情報公開を積極的に行っています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		
	41	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		○定期的に訓練を実施し、訓練後には、その都度反省・改善を行っています。
非常時等の対応	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		○対象児のおやつ提供は、準備の段階で別の袋に入れるなど、混入しないように管理を徹底しています。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		